



病院だより ◇128

地域連携室、入退院支援体制を強化しました

美祢市立美東病院の地域連携室は、看護師、社会福祉士、事務員が勤務しています。今年度より職員数を増員し、「患者さんの相談窓口」と「地域の医療機関や保健・福祉サービスの連携窓口」として、患者さんに切れ目ない医療・看護・介護サービスが提供できるようより一層入退院支援に力を入れています。

治療だけじゃない、 「地域連携室」は地域の生活を支えます



当院では、治す医療だけではなく、退院後の生活を支える医療を考えています。入院は、患者さんやご家族にとって何かと分からぬことが多く、見通しが立たない中、不安になることがあります。そのため入院後、退院してからの生活が困難になると予測される患者さんを入院の早い段階で必要な支援を行っていきます。医師や看護師だけではなく、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士などの多職種がそれぞれの専門的視点で患者さんの困りごとから課題を見つけ、解決策を検討しています。

退院に向けてのカンファレンス（話し合い）では、地域連携室が中心となって行います。患者さんやご家族、ケアマネジャー、訪問看護、施設職員等の関係機関が参加して退院後の生活や介護保険などの福祉サービスの利用について話し合い、入院中や退院後の希望、不安なことを一緒に考えていきます。地域連携室は、名前のとおり患者さまやご家族、院内外の多職種職員をつなぐ役目を担っています。



『困った』ときのレスパイト入院

レスパイトとは、「休息」「息抜き」といった意味があります。地域で在宅介護や医療を受けている方の中には、一人で介護の負担を背負って体調を崩されるご家族も見受けられます。ご本人やご家族の休息目的、介護者の事情により一時的に在宅介護が困難となった場合に短期間の入院をご利用いただけます。

病床の状況によっては、ご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。入院の申込みについては主治医の先生、担当ケアマネジャー、利用している訪問看護ステーションにご相談ください。